

座長：山田 清文（名大院・医・医療薬学）
前田 定秋（摂南大学薬学部 薬物治療学）

- A-01** 胎生期ヒストン脱アセチル化酵素阻害による神経細胞の成熟遅延
9:40 - ○井上亜耶¹、河内琢也¹、吾郷由希夫¹、田熊一徹^{1,2}、松田敏夫^{1,3}
(¹大阪大院・薬・薬物治療、²大阪大院・歯・薬理、³5 大学連合小児発達)
- A-02** アストロサイトにおける S1P 誘発細胞応答への TRPC6 の寄与
9:52 - ○勝本るみ¹、白川久志¹、中川貴之^{1,2}、金子周司¹
(¹京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野、²京都大学医学部附属病院薬剤部)
- A-03** 第5腰神経切断神経障害性疼痛ラットにおける Cav3.2 T型
10:04 - Ca²⁺チャンネル発現増加機序の解析：転写調節因子 Egr-1 と
脱ユビキチン化酵素 USP5 の挙動について
○富田詩織、関口富美子、坪田真帆、川畑篤史
(近畿大・薬・病態薬理)
- A-04** ヒト由来軟骨肉腫細胞株 (OUMS-27) における CLC7 機能解析
10:16 - ○栗田卓¹、鈴木良明¹、山村寿男¹、大矢 進²、今泉祐治¹、Wayne Giles³
(¹名市大院・薬・細胞分子薬効解析、²京都薬科大・薬・薬理学
³ Faculty of Kinesiology, University of Calgary)
- A-05** ハロペリドール誘発嚥下障害モデルの確立および薬効評価
10:28 - ○溝口貴洋¹、石坂光絵¹、神志那弘明²、嶋澤雅光¹、原英彰¹
(¹岐阜薬科大学薬効解析学、²岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科獣医臨床放射線学)
- A-06** ヒト腎系球体内皮細胞における AMPK-eNOS 経路の活性化
10:40 - ○山根 萌¹、宮本理人¹、富田洋輔¹、竹之熊和也¹、石澤啓介²、
玉置俊晃³、土屋浩一郎¹
(¹徳島大学 薬学部 医薬品機能生化学、²徳島大学 ヘルスバイオ
サイエンス研究部 臨床薬剤学、³徳島大学 医学部 薬理学)

座長：大矢 進（京都薬科大学 薬理学）

山村 寿男（名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学）

A-07 ヒト乳がん細胞株におけるヒストン脱アセチル化酵素阻害による
10:52 – Ca²⁺活性化 Cl⁻チャネル TMEM16A 発現調節機構

松葉紗代¹、金塚早希¹、中園裕利華¹、丹羽里実¹、藤井正徳¹、
鈴木孝禎²、○大矢 進¹

(¹京都薬大・薬理、²京都府医大・院医・医薬品化学)

A-08 Inhibition of cancer-type amino acid transporter LAT1 affects multiple
11:04 – cellular events in pancreatic cancer cells

○Pornparn Kongpracha、Pattama Wiriyasermkul、Noriyoshi Isozumi、
Printip Wongthai、Suguru Okuda、Kenjiro Tadagaki、Ryuichi Ohgaki、
Shushi Nagamori、Yoshikatsu Kanai

(Bio-system Pharmacology, Department of Pharmacology,
Graduate School of Medicine, Osaka University)

A-09 熱刺激に応答したカルシニューリンの局在制御機構の解析

11:16 – ○比嘉真理¹、喜多綾子¹、萩原加奈子¹、土井 章^{1,2}、長底利恵¹、
伊賀弓佳¹、佐藤亮介¹、杉浦麗子¹

(¹近畿大・院薬・分子医療・ゲノム創薬学

²日本学術振興会特別研究員 DC)

A-10 レチノイド受容体関連物質について

11:28 – ○早野泰造¹、岸岡史郎²、山本博之²、篠田 晋³

(¹旭会・和歌浦病院精神科、²和医大・医・薬理学、
³和医大・医・神経精神科)

A-11 Flurbiprofen のレプチン抵抗性改善作用による肥満治療効果

11:40 – ○小澤光一郎¹、細井 徹¹、森 光平²、末澤隆浩²、馬場幸子²、
豊田圭亮²

(¹広島大学大学院 医歯薬保健学総合研究院 治療薬効学研究室

²広島大学 薬学部 治療薬効学研究室)

A会場 血液・免疫**13:30 – 14:30**

座長：田中 宏幸（岐阜薬科大学機能分子学大講座 薬理学）

水口 博之（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 分子情報薬理学）

A-12 循環好中球制御不全による敗血症性 ARDS と HRG 補充効果
13:30 – ○和氣秀徳¹、森 秀治²、劉 克約¹、勅使川原匡¹、西堀正洋¹
(¹岡山大・院・医歯薬・薬理、²就実大・薬・応用薬学・生体情報)

A-13 マウスモデルによる食物アレルギーと母仔免疫に関する検討
13:42 – ○山下弘高^{1,2}、田中宏幸^{1,2}、稲垣直樹^{1,2}
(¹岐阜薬科大学薬理学研究室、²岐阜大学院連合創薬)

A-14 苔類から抽出されたビベンジル化合物の抗アレルギー作用について
13:54 – ○福石信之¹、仲原大介¹、山中直哉¹、青野左知子²、長島史裕²、
浅川義範²、赤木正明¹
(徳島文理大学薬学部¹薬理学教室、²薬化学教室)

A-15 Isolation of novel anti-allergic compound from *Tephrosia purpurea* in
14:06 – an activity guided manner and chemical synthesis of the compound
○Manik Chandra Shill¹、水口博之¹、根本尚夫²、福井裕行³
(徳島大・院・HBS 研究部¹分子情報薬理学、²機能分子合成薬学、
³分子難治性疾患学)

A-16 アナフィラキシーおよびそれに引き続き誘導される免疫応答に対する
14:18 – 抗原特異的 IgA の抑制作用
○八巻耕也、吉野 伸
(神戸薬科大学 薬理学研究室)

A会場 学生優秀発表賞選考セッション 4**14:30 – 15:54**

座長：金子 周司（京都大院・薬・生体機能解析）

川畑 篤史（近畿大・薬・病態薬理）

A-17 亜急性疼痛時におけるラット脳線条体 substance P 神経系の関与
14:30 – ○福重 亮¹、中村庸輝^{2,3}、森岡徳光²、仲田義啓²
(¹広島大学・薬学部・薬科学科、
²広島大学大学院・医歯薬保健学研究院・薬効解析科学、³NIH/NIDA)

- A-18** 患者由来 iPS 細胞を用いた脊髄性筋萎縮症の新規治療薬の探索
14:42 — ○大内一輝¹、船戸道徳²、加藤善一郎^{2,3}、嶋澤 雅光¹、
金子英雄²、原 英彰¹
(¹岐阜薬科大学薬効解析学、²国立病院機構長良医療センター臨床研究部、
³岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科)
- A-19** 末梢性神経障害性疼痛におけるマクロファージ由来血管内皮細胞増殖因子
14:54 — (VEGF) の関与
○門脇友維、小林悠佳、木口倫一、雑賀史浩、岸岡史郎
(和歌山県立医科大学医学部 薬理学教室)
- A-20** システムズ薬理学によるバルプロ酸の催奇形性分子機構解析
15:06 — ○村上宗一郎¹、西村有平^{1,2,3,4,5}、笹川翔太¹、芦川芳史¹、川端美湖¹、
有吉美稚子¹、張 貝貝¹、田中利男^{1,2,3,4,5}
(¹三重大・院・医・薬理ゲノミクス、²三重大・メディカル
ゼブラフィッシュ研究セ、³三重大・院・医・システムズ薬理学、
⁴三重大・新産業創成研究拠・オミックス医学研、
⁵三重大・生命科学研究支援セ・バイオインフォ)
- A-21** 大動脈解離に対するピタバスタチンの効果
15:18 — ○長尾朋子¹、石澤啓介^{2,4}、戸谷紘基¹、小原佑介¹、今西正樹⁵、
石澤有紀³、木平孝高³、池田康将³、土屋浩一郎¹、玉置俊晃³
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 ¹医薬品機能生化学、
²臨床薬剤学、³薬理学、⁴徳島大学病院薬剤部、
⁵鳥取大学医学部分子薬理学)
- A-22** 雄性化エフェクター遺伝子のインビトロ誘導系の開発
15:30 — ○吉田太理、村岡 聡、高橋 智、鈴木堅太郎、山田 源
(和歌山県立医科大学 先端医学研究所 遺伝子制御学研究所)
- A-23** 膵癌細胞における低血清・低酸素耐性株の樹立と Gemcitabine
15:42 — 感受性の評価
○市坪大将^{1,2}、田中昌子^{1,2}、高橋克之¹、泉 康雄¹、塩田正之¹、
三浦克之^{1,2}、岩尾 洋^{1,3}
(¹大阪市大院・医・分子病態薬理、²大阪市大院・医・薬効安全性学、
³四天王寺大・教育)

座長： 近藤 一直（藤田保健衛生大学医学部 薬理学）

吉栖 正典（奈良県立医科大学医学部 薬理学）

B-01 Na チャネル遮断薬の催不整脈性と心筋 Na チャネルの虚血誘発性
9:40 – 細胞内分布変化との関係

○津元国親¹、芦原貴司²、原口 亮³、中沢一雄⁴、倉智嘉久¹
(¹大阪大学大学院医学系研究科、²滋賀医科大学循環器内科・
不整脈センター、³国立循環器病研究センター・情報統括部、
⁴国立循環器病研究センター研究所・研究情報基盤管理室)

B-02 メタボリックシンドロームラットにおける SGLT2 阻害薬
9:52 – エンパグリフロジンの降圧作用

○中野大介¹、武重由依^{1,2}、藤澤良秀¹、Abu Sufiun¹、Asadur Rahman¹、
Kazi Rafiq¹、緒方浩顕²、西山 成¹
(¹香川大学薬理学、²昭和大学横浜市北部病院 内科)

B-03 The deletion of adenylyl cyclase 3 in the nephron increases
10:04 – magnesium excretion in mice

○Wararat Kittikuluth^{1,2}、Deborah Stuart¹、西山 成²、
Donald E. Kohan¹
(¹Division of Nephrology, University of Utah Health Sciences Center
and Salt Lake City Veterans Affairs Medical Center、
²香川大学薬理学)

B-04 非アルコール性脂肪性肝炎モデルにおけるスーパーオキシド産生酵素
10:16 – NOX1 の役割

○松本みさき、張 嘉、矢部千尋
(京都府立医科大学大学院 医学研究科 病態分子薬理学)

座長： 稲垣 直樹（岐阜薬科大学機能分子学大講座 薬理学）

酒井 規雄（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 神経薬理学）

B-05 神経障害性疼痛に対する methadone の脊髄鎮痛作用

10:28 - ○角 貴祐、溝口広一、渡辺千寿子、櫻田 忍
(東北薬科大学 機能形態学教室)

B-06 平滑筋特異的 NCX1 過剰発現マウスを用いた NCX1 による

10:40 - 胃運動調節機構の解明

○林 里美¹、東 泰孝¹、喜多紗斗美²、中嶋秀満¹、岩本隆宏²、
竹内正吉¹
(¹大阪府大・院・生命環境・獣医・応用薬理、²福岡大・医・薬理)

B-07 PKN3 遺伝子ノックアウトマウスを用いたがん転移抑制メカニズムの探索

10:52 - ○辻本 翔¹、窪内康二¹、神田勇輝¹、小野祐輝¹、木戸友絵¹、
西田升三²、椿 正寛²、向井秀幸³、杉浦麗子¹
(¹近畿大学 薬学部 分子医療・ゲノム創薬学研究室、²近畿大学 薬学部
薬物治療学研究室、³神戸大学 バイオシグナル研究センター)

B-08 マクロファージ由来 HMGB1 の炎症性痛覚過敏への関与と分子作用

11:04 - メカニズムの解析

○山嵜大智¹、関由加里¹、山西広樹¹、坪田真帆¹、関口富美子¹、
八木秀樹²、益子 高²、西堀正洋³、川畑篤史¹
(¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・細胞生物、
³岡山大院・医・薬理)

B-09 心筋虚血性不整脈に対するニコランジルの保護効果 ～心筋カテコラミン

11:16 - 遊離に対する影響～

○大鹿沙季、小原 幸、天野寿洋、大東 誠、中田徹男
(京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野)

B-10 K_{2P} チャネルの複数体形成の多様性についての検討

11:28 - ○宮本達也、鈴木良明、山村寿男、今泉祐治
(名市大・院薬・細胞分子薬効解析)

座長：小澤光一郎（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 治療薬効学）

徳山 尚吾（神戸学院大学薬学部 臨床薬学）

B-11 イノシトールリン脂質代謝を制御する PH domain タンパク質の同定と
13:30 - 機能解析

○水野稜子¹、李 翠芳¹、小倉尚也¹、加藤彩香¹、喜多綾子¹、
佐藤亮介¹、奥 公秀²、阪井康能²、伊藤俊樹³、杉浦麗子¹

（¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬学、²京大院・農・応用生命、
³神戸大院・バイオシグナル）

B-12 SH3 ドメインタンパク質 Skb5 による PKC/MAPK シグナル制御
13:42 - メカニズムの解明

○神田勇輝、土井 章、辻本 翔、喜多綾子、成瀬 一、佐藤亮介、
杉浦麗子

（近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬学）

B-13 IL-13 は末梢神経傷害時の炎症性マクロファージを抑制する

13:54 - ○阪口晴香、木口倫一、小林悠佳、雑賀史浩、岸岡史郎
（和歌山県立医科大学医学部 薬理学教室）

B-14 低酸素誘導因子の腎虚血再灌流障害に対する役割

14:06 - ○岸渕麗奈¹、木平孝高¹、山口邦久²、石澤有紀¹、池田康将¹、
富田修平⁴、土屋浩一郎³、玉置俊晃¹

（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 ¹薬理学、²泌尿器科学、
³医薬品機能生化学、⁴鳥取大学医学部分子薬理学）

B-15 マウス生殖結節の時期特異的 *MafB* 発現におけるエピジェネティック
14:18 - 制御の関与の可能性

○池田奈津子、伊豫拓朗、鈴木堅太郎、山田 源

（和歌山県立医科大学 先端医学研究所 遺伝子制御学研究室）

B-16 脳虚血における膜貫通糖タンパク質 GPNMB の役割

14:30 - ○中野雄介、鈴木悠起也、高木俊範、北庄司輝、小野陽子、
鶴間一寛、嶋澤雅光、原 英彰

（岐阜薬科大学 薬効解析学研究室）

座長：大澤 匡弘（名古屋市立大学大学院薬学研究科 神経薬理学）
永井 拓（名古屋大学大学院医学系研究科 医療薬学・附属病院薬剤部）

- B-17** CC-ケモカインはメタンフェタミン精神的依存形成に関与する
14:42 - ○雑賀史浩、木口倫一、小林悠佳、岸岡史郎
(和歌山県立医科大学医学部 薬理学教室)
- B-18** 自閉症スペクトラム発症機構におけるセロトニントランスポーターの役割
14:54 - ○松崎伸介^{1,2,3}、石川淑子¹、三好 耕^{1,2}、岩田圭子⁴、松崎秀夫⁴、
遠山正彌¹、片山泰一¹
(¹大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 こころの発達神経科学講座
分子生物遺伝学領域、²大阪大学大学院 連合小児発達学研究所
附属子どものこころの分子統御機構研究センター、
³大阪大学大学院 医学系研究科 神経機能形態学講座、
⁴福井大学 子どものこころの発達研究センター)
- B-19** 精神刺激薬反復投与マウスのマウス間相互作用の異常
15:06 - ○田中辰典¹、吾郷由希夫¹、井本絵実奈¹、田熊一徹^{1,2}、松田敏夫^{1,3}
(¹大阪大院・薬・薬物治療、²大阪大院・歯・薬理、
³5 大学連合小児発達)
- B-20** アトピー性皮膚炎モデルマウスのバルビツール酸系薬剤による
15:18 - 搔痒様行動の増強における GABA_A 受容体と L 型電位依存性
カルシウムチャネルの関与
○藤井正徳¹、浅野絵里香¹、大神彩佳¹、奈邊 健^{1,2}、大矢 進¹
(¹京都薬大・薬理、²摂南大・薬・毒性)
- B-21** 隔離飼育マウスのエンカウンター誘発多動に対する抗うつ薬の
15:30 - 多動抑制メカニズム
○長谷部茂¹、西山早紀²、岡 智史¹、吾郷由希夫¹、田熊一徹³、
松田敏夫^{1,4}
(¹大阪大院・薬・薬物治療、²大阪大・薬・薬物治療、
³大阪大院・歯・薬理、⁴5 大学連合小児発達)
- B-22** 胎生期ニコチン暴露が成熟期の学習記憶機能に及ぼす影響
15:42 - ○間宮隆吉¹、羽田麻希¹、角田侑紀¹、榊原奈美¹、宋 由香¹、
吉田あや¹、青山雄紀¹、Alkam Turson¹、鍋島俊隆^{2,3}、平松正行¹
(¹名城大学薬学部薬品作用学、²名城大学薬学部地域医療薬局学、
³NPO 医薬品適正使用推進機構)

座長：中川 貴之（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

関口富美子（近畿大学薬学部 病態薬理学）

- C-01** LPS 誘発炎症モデルにおいて発現変化する脳内 miRNA の同定
9:40 – ○柿原素楽¹、笠井淳司^{1,2}、岡田 遼¹、尾中勇祐¹、中澤敬信³、
永安一樹³、早田敦子⁴、新谷紀人¹、橋本 均^{1,3,4}
(¹大阪大院・薬・神経薬理、²大阪大・未来戦略、³大阪大院・薬・
附創薬センター、⁴大阪大院・連合小児発達・子どものこころ研セ)
- C-02** NMDA 誘発網膜神経節細胞死に対する TNF- α 発現抑制を介した
9:52 – apelin の保護作用
○石丸侑希、梶岡大暉、住野彰英、塚本彩香、森田 匠、山室晶子、
吉岡靖啓、前田定秋
(摂南大学・薬学部・薬物治療学)
- C-03** Calcineurin 阻害薬 tacrolimus は capsaicin 誘起結腸痛および cerulein
10:04 – 誘起急性膵炎関連痛を増強する
○寺田侑加^{1,2}、松井和樹¹、坪田真帆¹、関口富美子¹、和田恭一²、
栗原 健²、高田充隆³、川畑篤史¹
(¹近畿大・薬・病態薬理、²国循セ・薬剤部、
³近畿大・薬・臨床薬剤情報学)
- C-04** 母子分離・隔離飼育ストレスはマウスにおいて坐骨神経結紮による
10:16 – 神経障害性疼痛を増悪させる
○西中 崇¹、中本賀寿夫¹、山下琢矢²、糟谷史代²、徳山尚吾¹
(¹神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室、
²神戸学院大学薬学部毒性学研究室)
- C-05** 脳内長鎖脂肪酸受容体 GPR40 を介した下行性疼痛制御系の活性化機構
10:28 – ○中本賀寿夫¹、西中 崇¹、相澤風花¹、山下琢矢²、万倉三正³、
小山 豊⁴、糟谷史代²、徳山尚吾¹
(¹神戸学院大学 薬学部 臨床薬学、²神戸学院大学 薬学部 毒性学、
³くらしき作陽大学、⁴大阪大谷大学 薬学部 薬理学)
- C-06** 神経障害性疼痛時の脊髄における乳酸の役割の検討
10:40 – ○大澤匡弘、宮本啓補、飯尾彩加、勝 弘毅、糸 和彦
(名古屋市立大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野)

座長： 田熊 一徹（大阪大学大学院歯学研究科 薬理学）

森岡 徳光（広島大院・医歯薬保・薬効解析）

C-07 ロサルタンの抗侵害刺激作用について

10:52 - ○根本 互¹、小潟佳輝¹、中川西修¹、八百板富紀枝¹、只野 武²、
丹野孝一¹

（¹東北薬科大学薬理学教室、

²金沢大学医薬保健学総合研究科 環境健康科学講座）

C-08 多発性硬化症疼痛に対するオピオイド性鎮痛薬の効果

11:04 - ○溝口広一¹、渡辺千寿子¹、長瀬 博²、櫻田 忍¹

（¹東北薬科大学機能形態学教室、

²筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構創薬化学研究室）

C-09 骨がん性疼痛モデルマウスにおける疼痛及びモルヒネ精神依存形成の評価

11:16 - ○前田武彦¹、佐野礼奈¹、新飯田充¹、藤井優子¹、山田大祐¹、
尾崎昌宣²

（新潟薬科大学・薬学部・¹薬効薬理学研究室、²薬効安全性学研究室）

C-10 脳虚血後高血糖に起因する神経障害の進展に対する脳内

11:28 - sodium-glucose transporter type 1 の関与

○山崎由衣、原田慎一、徳山尚吾

（神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室）

C-11 Orexin-A による迷走神経を介した脳虚血後の糖代謝制御および
11:40 - 神経障害発現への影響

○原田慎一、徳山尚吾

（神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室）

C-12 脳梗塞後神経細胞障害におけるグルタミントランスポーター

11:52 - Slc38a1 の役割

○宝田剛志、中里亮太、中村早希、藤川晃一、高巴奇、檜井栄一、
米田幸雄

（金沢大院・薬・薬物学）

座長： 古屋敷智之（神戸大学大学院医学研究科 薬理学）

久米 利明（京都大学大学院薬学研究科 薬品作用解析学）

C-13 硫化水素と一酸化窒素による新規 PTEN 調節機構

13:30 - ○上原 孝、大野一紀
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬効解析学)

C-14 神経障害性疼痛に対する脊髄後角におけるアストロサイト Cx43 の関与

13:42 - ○張 芳芳¹、森岡徳光¹、北村智哉²、藤井志織³、中島一恵¹、
仲田義啓¹
(¹広島大学大学院・医歯薬保健学研究科・薬効解析科学
²広島大学・薬学部・薬学科、³広島大学・薬学部・薬科学科)

C-15 ミクログリア細胞に発現する時計遺伝子の機能解析

13:54 - ○中里亮太¹、中村早希¹、宝田剛志¹、程 肇²、檜井栄一¹、米田幸雄¹
(金沢大院・¹薬・薬物学、²理・ゲノム時間生物学)

C-16 Loss of Tsc1 accelerates malignant gliomagenesis when combined with oncogenic signals

14:06 - ○山田大祐¹、星居孝之²、田中慎吾²、前田武彦¹、平尾 敦²
(¹新潟薬大、²金大 がん研)

C-17 LPSによるBV-2細胞のエンドサイトーシス上昇とトランスグルタミナーゼの関与

14:18 - ○高野 桂、河邊憲司、森山光章、中村洋一
(大阪府立大院・生命環境科学・獣医・統合生理)

C-18 エンドセリンによるアストロサイト VEGF-R1 の発現変化と受容体シグナル系の増強

14:30 - ○小山 豊、林 美央、小西智洋
(大阪大谷大・薬・薬理)

座長： 小山 豊（大阪大谷大・薬・薬理）
上原 孝（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 薬効解析学）

C-19 GABA_A受容体 $\alpha 6$ サブユニット発現調節に対するエタノールの作用
14:42 - ○水野晃治、黒川和宏、大熊誠太郎
(川崎医科大学 薬理学教室)

C-20 小脳顆粒神経細胞における恒常的 G_s 活性型受容体 GPR3 の局在と機能
14:54 - ○宮城達博、田中 茂、秀 和泉、白藤俊彦、酒井規雄
(広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 神経薬理学)

C-21 多能性 P19 細胞株の増殖能と分化能に対する緑茶アミノ酸テアニンの
15:06 - 薬理作用
○池野信介、国保博史、中里亮太、檜井栄一、宝田剛志、米田幸雄
(金沢大院・薬・薬物学)

C-22 IQGAP1 の神経細胞における機能解析
15:18 - ○伊藤教道¹、渡辺 崇²、永井 拓^{1,3}、貝淵弘三²、山田清文^{1,3}
(¹名古屋大学病院薬剤部、²名古屋大院・医・神経薬理学、
³名古屋大院・医・医療薬学)

C-23 ドパミン神経突起はインテグリン $\alpha 5$ を介して線条体ニューロンに沿って
15:30 - 伸長する
○泉 安彦¹、神原知里¹、脇田誓子¹、赤池昭紀^{1,2}、久米利明¹
(¹京都大学大学院薬学研究科薬品作用解析学分野、
²名古屋大学大学院創薬科学研究科細胞薬効解析学分野)